

4. 障害のある人に必要な配慮などについて

◆必要な時に

障害がある人から配慮を求められた時は、必要な配慮の内容を確認して対応しましょう。また、困っている様子に気づいた時には、「お手伝いしましょうか」とひと声かけてください。

◆必要な配慮は、一人ひとり違います

困っていることや必要な配慮は、一人ひとり違います。

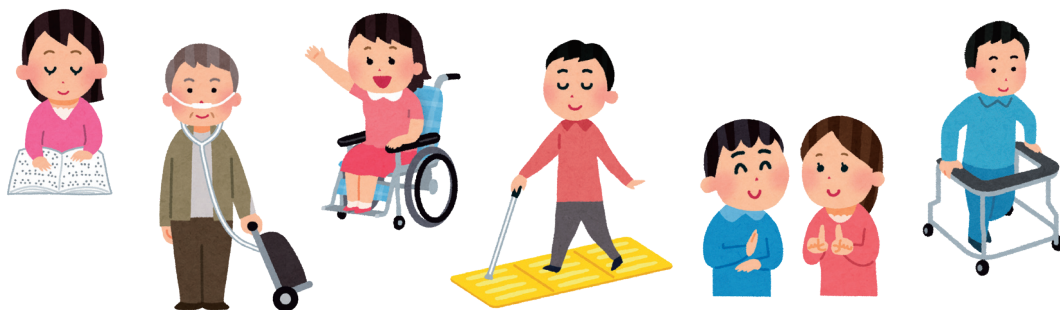
そのため、本人に配慮の必要性や具体的な方法などを確認する必要があります。

また、障害のある人が、必要としている配慮などについて、周りの方にわかりやすく伝えていくことも大切です。

障害のある人が、遠慮している場合もあるので、「どうかしましたか」と声をかけるなど、伝えやすい雰囲気を作りましょう。

◆特別な人ではありません

機能障害は、その人の一部です。特別な扱いや言葉遣いは不要です。あくまでも対等な立場で、そして、同じ目線で接するようにしましょう。また、障害は誰にでも起こりうるものです。



障害の状況にあった、必要な工夫ややり方などの配慮は、その障害のある人の障害種別や障害の状況によって異なります。

次ページからは、大きく障害種別ごとに、障害特性や考えられる配慮について、ご紹介します。

